



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社大阪ソーダ 上場取引所 東
 コード番号 4046 URL http://www.osaka-soda.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 寺田 健志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 植田 祥裕 (TEL) 06-6110-1560
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	45,178	△14.8	3,497	△29.4	3,698	△28.7	2,474	△22.5
2020年3月期第2四半期	53,026	0.7	4,952	14.7	5,190	5.8	3,191	△4.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 4,023百万円(51.2%) 2020年3月期第2四半期 2,660百万円(△34.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	104.60	93.09
2020年3月期第2四半期	136.24	119.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	110,658	71,715	64.8
2020年3月期	110,851	69,121	62.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 71,712百万円 2020年3月期 69,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	32.50	—	32.50	65.00
2021年3月期	—	32.50			
2021年3月期(予想)			—	32.50	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当の状況に関する注記

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	△9.0	8,000	△17.5	8,400	△18.6	5,700	△12.4	240.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	26,731,415株	2020年3月期	26,731,415株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,277,764株	2020年3月期	3,002,722株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	23,655,604株	2020年3月期2Q	23,421,818株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の制限により、厳しい状況で推移しました。経済活動の再開により一部で持ち直しの動きがみられるものの、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような環境のもと、当社グループは、中期経営計画「BRIGHT-2020」の最終年度を迎え、引き続き、「新成長エンジンの創出」、「海外収益基盤の確立」および「事業構造改革の完遂」の3つの基本方針に基づき、具体的な施策をさらに進めました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、451億7千8百万円と前年同期比14.8%の減少となりました。利益面におきましても、営業利益は34億9千7百万円と前年同期比29.4%の減少、経常利益は36億9千8百万円と前年同期比28.7%の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億7千4百万円と前年同期比22.5%の減少となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<基礎化学品>

クロール・アルカリは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により国内需要が全般的に落ち込んだため、売上高は減少しました。エピクロルヒドリンは、電子材料向けは堅調に推移しましたが、国内外とも総じて需要が落ち込み、売上高は減少しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は199億2千5百万円と前年同期比19.1%の減少となりました。

<機能化学品>

ダップ樹脂は、新型コロナウイルス感染症拡大により日欧米を中心に商業用印刷インキの需要が落ち込んだため、売上高は減少しました。ア릴エーテル類は、一部需要の落ち込みがあったものの、海外での拡販が進んだため、売上高は増加しました。合成ゴム関連につきましては、エピクロルヒドリンゴムは世界の自動車生産工場の一時的な稼働停止により、生産台数の大幅な減少の影響を受けました。アクリルゴムは、中国および欧州を中心に新規採用が進みました。

医薬品精製材料は、東欧並びにインド向けの糖尿病治療薬用途等の需要が拡大し、売上高は増加しました。医薬品原薬・中間体は、抗結核薬中間体、不眠症治療薬中間体および認知症治療薬中間体の販売が拡大したため、売上高は増加しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は186億3千4百万円と前年同期比9.6%の減少となりました。

<住宅設備ほか>

建材事業の販売が低調に推移したため、住宅設備ほかの売上高は66億1千8百万円と前年同期比14.8%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、1.9%減少し685億7千8百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が40億7千3百万円が減少し、現金及び預金が21億1千7百万円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、2.7%増加し420億7千9百万円となりました。これは、主として投資有価証券が22億3千7百万円増加し、有形固定資産が9億3千万円、無形固定資産が1億3百万円それぞれ減少したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、0.2%減少し1,106億5千8百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、8.3%減少し244億5千4百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が17億9千9百万円、短期借入金が5億9千5百万円それぞれ減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、3.9%減少し144億8千8百万円となりました。これは、主として新株予約権付社債が12億6千3百万円減少し、繰延税金負債が7億4千7百万円増加したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて、6.7%減少し389億4千2百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、3.8%増加し717億1千5百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて、31億1千6百万円増加し320億1千5百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、66億3千8百万円の収入となりました。これは主に、増加要因として税金等調整前四半期純利益が36億6百万円、減価償却費が18億4千9百万円、減少要因として法人税等の支払額が11億2千2百万円となったことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億3千6百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4億9千1百万円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、33億4千1百万円の支出となりました。これは主に、新株予約権付社債の償還による支出12億6千3万円、配当金の支払額が7億7千1百万円、自己株式の取得による支出が6億7千7百万円、短期借入金の返済による支出5億9千5百万円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきましては、2020年5月11日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,099	17,216
受取手形及び売掛金	25,641	21,567
電子記録債権	3,096	3,171
有価証券	14,299	14,798
商品及び製品	6,901	7,409
仕掛品	1,368	1,543
原材料及び貯蔵品	2,268	2,144
その他	1,296	825
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	69,871	68,578
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	10,110	9,498
その他(純額)	11,743	11,423
有形固定資産合計	21,853	20,922
無形固定資産		
のれん	681	589
その他	346	334
無形固定資産合計	1,027	924
投資その他の資産		
投資有価証券	16,803	19,040
繰延税金資産	368	310
その他	933	888
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	18,099	20,233
固定資産合計	40,980	42,079
資産合計	110,851	110,658

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,159	11,359
短期借入金	7,767	7,172
未払法人税等	1,278	1,162
賞与引当金	911	895
その他	3,543	3,864
流動負債合計	26,660	24,454
固定負債		
新株予約権付社債	10,000	8,737
繰延税金負債	436	1,183
役員退職慰労引当金	281	15
退職給付に係る負債	3,265	3,252
その他	1,085	1,299
固定負債合計	15,069	14,488
負債合計	41,730	38,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,870	15,870
資本剰余金	14,387	14,388
利益剰余金	41,870	43,573
自己株式	△6,682	△7,345
株主資本合計	65,446	66,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,177	5,741
繰延ヘッジ損益	8	0
為替換算調整勘定	7	△18
退職給付に係る調整累計額	△518	△498
その他の包括利益累計額合計	3,674	5,224
非支配株主持分	—	3
純資産合計	69,121	71,715
負債純資産合計	110,851	110,658

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	53,026	45,178
売上原価	41,583	35,483
売上総利益	11,443	9,695
販売費及び一般管理費	6,490	6,197
営業利益	4,952	3,497
営業外収益		
受取利息	2	7
受取配当金	258	275
持分法による投資利益	20	—
その他	120	49
営業外収益合計	402	333
営業外費用		
支払利息	48	43
持分法による投資損失	—	15
為替差損	95	63
その他	21	10
営業外費用合計	164	132
経常利益	5,190	3,698
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	178	—
特別利益合計	179	—
特別損失		
固定資産除却損	83	92
投資有価証券評価損	375	—
関係会社株式評価損	251	—
その他	3	—
特別損失合計	713	92
税金等調整前四半期純利益	4,655	3,606
法人税、住民税及び事業税	1,302	1,025
法人税等調整額	162	107
法人税等合計	1,464	1,132
四半期純利益	3,191	2,474
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,191	2,474

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,191	2,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△551	1,563
繰延ヘッジ損益	18	△8
為替換算調整勘定	△15	△22
退職給付に係る調整額	17	19
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△3
その他の包括利益合計	△530	1,549
四半期包括利益	2,660	4,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,660	4,023
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,655	3,606
減価償却費	1,761	1,849
のれん償却額	91	91
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	10	△15
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△412	△266
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△28	△13
受取利息及び受取配当金	△261	△283
支払利息	48	43
為替差損益(△は益)	43	18
固定資産除却損	83	92
固定資産売却損益(△は益)	2	—
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△178	—
関係会社株式評価損	251	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,328	3,969
たな卸資産の増減額(△は増加)	△595	△562
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,387	△1,763
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	375	—
持分法による投資損益(△は益)	△20	15
その他	△382	731
小計	7,385	7,511
利息及び配当金の受取額	273	293
利息の支払額	△54	△43
法人税等の支払額	△2,141	△1,122
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,463	6,638
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,821	△491
有形固定資産の売却による収入	17	—
無形固定資産の取得による支出	△3	△51
有価証券の償還による収入	—	500
投資有価証券の取得による支出	△10	△8
投資有価証券の売却による収入	299	—
その他	△73	△85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,592	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△595
新株予約権付社債の償還による支出	△23	△1,263
自己株式の取得による支出	△2	△677
配当金の支払額	△808	△771
その他	△38	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△871	△3,341
現金及び現金同等物に係る換算差額	△59	△44
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,940	3,116
現金及び現金同等物の期首残高	24,376	28,899
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,316	32,015

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	24,643	20,610	7,772	53,026	—	53,026
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	33	401	446	△446	—
計	24,656	20,643	8,173	53,473	△446	53,026
セグメント利益	2,621	2,702	215	5,539	△586	4,952

(注) 1 セグメント利益の調整額△586百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	19,925	18,634	6,618	45,178	—	45,178
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	72	155	242	△242	—
計	19,940	18,706	6,774	45,420	△242	45,178
セグメント利益	1,683	2,317	110	4,111	△613	3,497

(注) 1 セグメント利益の調整額△613百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。